

北方対策本部 令和9年度 概算要求のポイント

令和9年度概算要求額 **19億79百万円**令和8年度予算額 17億28百万円
(対前年度比 2億51百万円増、114%)

重点課題

- ① 北方領土隣接地域における地域一体となった地域振興にも資する啓発促進策（啓発施設の老朽化対策を含む。）の推進
- ② 元島民の記憶の継承と若い世代向けの理解促進

主な事業

●北方領土隣接地域一体となった、各市町の個性を活かした啓発施設の整備促進等（1億70百万円）

<新規>

- 新たな啓発施設(標津町)の基本設計等に着手 (70百万円)

※2年国庫債務負担行為(総額1億10百万円:1年目)



- 既存啓発施設(別海北方展望塔(別海町))の老朽化対策の促進 (1億円)

※ 北方館(根室市)、羅臼国後展望塔(羅臼町)の改修工事は令和7年度補正予算で実施。(1億23百万円)

●元島民のオーラルヒストリーのアーカイブ化の緊急実施と次代につなぐ広報の展開（1億20百万円）

<新規>

- 元島民が平均90歳を超える中、元島民の生の声・オーラルヒストリーの収集、次代につなぐアーカイブ化に、喫緊の課題として取り組む。 (49百万円)

- 北方領土返還運動を次代につなぐための広報の戦略的展開(若者向け広報等) (71百万円)